

令和4年度「地域日本語教育アドバイザー派遣」事業概要

1 目的

外国人の日本語学習の重要な場となっている地域日本語教室においては、各々の実情に応じて教室運営等に関する課題を有している。そこで、地域日本語教育アドバイザーを派遣し、運営・指導方法等のアドバイス、解決策を提案し支援を行う。課題解決に導くことで日本語教室の活性化を図り、外国人の日本語学習環境の充実につなげる。

2 対象

県内の地域日本語教室、市町国際交流協会

※支援対象は大人・子どもを問いません。

※新規教室の立ち上げ検討、準備段階でも構いません。

※市町村及び日本語学校、専門学校、大学等の営利団体・教育機関は対象外です。

3 期間

応募：令和4年5月16日（月）～11月30日（水）

派遣：令和4年6月 1日（水）～12月16日（金）

4 費用

無料

5 内容

岐阜県内の地域日本語教室が抱える悩みや課題に、アドバイザーが寄り添い教室関係者とともに改善方法を検討し、アドバイスを行う。

また、外からの視点を取り入れ、教室内で話し合いや意見交換を円滑に行うためにファシリテーターとしてアドバイザーを派遣することも可能。

【アドバイス内容】

(運営面) 人材確保、ニーズ把握、役割分担、課題共有、広報等

(活動面) 指導方法、教材選定、シラバス作成、オンライン対応等

- ・ 基本は教室へ訪問しアドバイスを行うが、新型コロナ拡大防止の観点より、オンラインによるアドバイスも可能です。
- ・ 子ども向けの教室については、学校の教育課程外で行われる日本語指導や教室運営のアドバイスに限ります(学校生活への適応指導、教科、就学、進学に対するアドバイスは対象外)。

6 体制

事務局：（公財）岐阜県国際交流センター

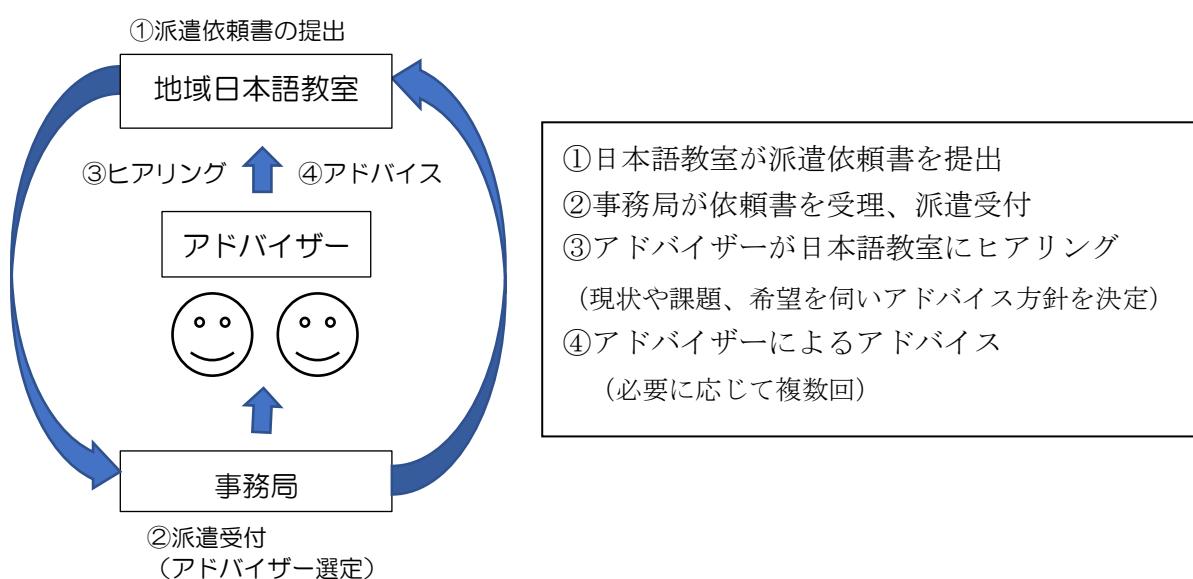
アドバイザー：地域日本語教育コーディネーター（県委嘱）

日本語指導者（県モデル日本語教室）

文化庁地域日本語教育コーディネーター研修終了者

岐阜県及び近隣県にて日本語教育・支援の経験豊富な方 複数名

7 アドバイザー派遣の流れ



- ・基本的に1教室につき、アドバイザーは2人(1～3人の場合もあり)
- ・ヒアリングの日程調整は事務局が行い、その後のやり取りは、日本語教室とアドバイザー間で直接行う。
- ・6教室（先着順）×2時間×4回（ヒアリング含む）を派遣目安としているが、派遣回数や時間の増減は可能
- ・4回以上の派遣を希望される場合は、事務局まで御相談ください。

8 申し込み・問い合わせ

派遣依頼書（希望するアドバイス内容一覧を含む）を御記入の上、下記までメールにて御提出ください。

（公財）岐阜県国際交流センター 福川 宛

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

TEL : 058-214-7700 E-mail:gic@gic.or.jp

<https://www.gic.or.jp/> (当センターHP)

<https://www.gic.or.jp/nihongo/> (ぎふ日本語学習支援サイト)

9 主催 （公財）岐阜県国際交流センター